

結果のまとめ

平成23年度学校評価
『教育活動アンケート』

生 徒
保 護 者

宮城県石巻商業高等学校
〒986-0031 石巻市南境字大樋 20 番地
電話(0225)22-9188
Fax(0225)22-9189
<http://www.sekisyo.myswan.ne.jp>

はじめに

はじめに、東日本大震災で被災された皆様に謹んでお見舞い申し上げます。震災の影響により本校でもライフラインや情報インフラの復旧が遅れたことや、その後も様々な影響により、教育活動・環境についてご迷惑をお掛けしたことを深くお詫び申し上げます。

このような中、今年度も「学校評価」にご協力を頂きありがとうございました。本校では、この評価結果を元に学校評価委員会で審議し、生徒がよりよい環境で様々な活躍ができるよう、生徒一人ひとりの活動を全面的にバックアップしていきたいと思っております。今後ともご協力を宜しくお願いいたします。

アンケート調査分析結果

学校評価アンケートは、「そう思う」「大体そう思う」を肯定的な意見とし、「あまりそう思わない」「そう思わない」を否定的な意見として分析しました。

今年度のアンケート集計では、全ての質問項目において肯定的な意見が否定的な意見を上回りました。昨年肯定的な意見の割合が70%を超えた項目は、「学校として、部活動は活発に行なわれている」(90%)「生徒にとって、挨拶やマナーなどの基本的な生活習慣の確立に関する指導が行なわれている」(82%)「保護者に対して、学校便りなどによって、学校の情報は適切に伝えられている」(71%)「自分にとって、学校生活は充実している」(70%)の4項目だったのに対し、今年度のアンケートでは8項目(下表参照)が70%を超える結果となりました。なぜ今回のアンケート結果が全体的に肯定的な意見が否定的な意見を上回ったのか、特に注目した点は、「生徒にとって、教員やカウンセラーが必要な時に相談に応じてくれる体制ができている」の質問項目でした。昨年63%だったのに対し今年は85.9%と22.9%も上昇しています。実際にカウンセリングを利用した件数は昨年46件に対して、今年度は232件にも上っています。震災による生徒の精神的なケアにあたるためカウンセラーを増員したこと、職員も心のケアに関する研修を数回受け、生徒と対峙したことが、全体に生徒の学校生活に波及し数値を押し上げたのだと考えられます。

これらのことから、昨年は、「生徒は部活動を通し目標に向かって努力することの意義や、生活基盤である、挨拶やマナーなど基本的な生活習慣の重要性を意識することにより充実した学校生活を送れている」という分析結果でしたが、今年は、そこに「心のケア」が加わり、安心や心のよりどころを見出すことによって充実した学校生活を送れていることが考察されます。

しかし、毎年本校の課題となっている「保護者に対して、学校便りなどによって、学校の情報は適切に伝えられている」項目は前年度とほぼ変わらない数値となっています。学校情報の提供は、従来の紙媒体によるプリントの配布と、ホームページによるネット配信に加え、今年度はメールの配信を12月から行なっているにもかかわらず、数値が改善されませんでした。これは、メールの配信までの手順がまだ経験が浅いことから迅速に行なわれなかったことや、震災の影響により石巻地区のネットワークインフラの復旧が一番遅かったことにより、学校からホームページの更新ができなかったこと、さらにWebページを公開しているサーバが変更になり今までの設定でブログが動かなくなったため、閉鎖せざるを得なかったことが、結局はプラスマイナスゼロになっているのだと思われます。これらについては検討を行い迅速に改善に努めたいと思っております。

ご多忙の中アンケートへのご協力ありがとうございました。また、皆様のおかげで貴重なご意見がたくさん集まりましたこと、重ねてお礼申し上げます。今回の結果をもとに生徒の夢の実現と地域に貢献できる学校づくりにをまい進していきたいと思っております。

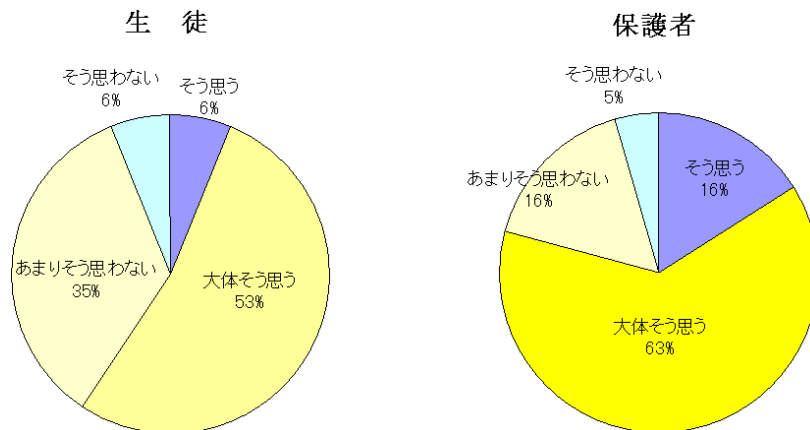
	質問項目	生徒肯定票	保護者肯定票
1	生徒にとって、学ぶ意欲を引き出し、学力を身につけられるような授業が行なわれている	59.3%	79.2%
2	生徒にとって、挨拶やマナーなどの基本的な生活習慣の確立に関する指導が行なわれている	87.1%	84%
3	生徒にとって、進路目標の明確化に向けた適切な指導が行なわれている	75.3%	77.1%
4	生徒にとって、教員やカウンセラーが必要な時に相談に応じてくれる体制ができている	85.9%	76%
5	学校として、部活動は活発に行なわれている	86.8%	89.3%
6	学校として、生徒会活動は行なわれている	81.3%	76.8%
7	自分にとって、有意義な学校行事がある	74.6%	81.9%
8	学校として、地域や伝統などに根ざした特色ある学校づくりに取り組んでいる	69.7%	74.4%
9	生徒に対して、災害・非常時の避難方法や連絡方法は伝えられている	64.5%	51.8%
10	保護者に対して、学校便りなどによって、学校の情報は適切に伝えられている	74.6%	62.6%
11	校舎やグラウンドなどの施設や設備は整備されている	68.2%	66.9%
12	自分にとって、学校生活は充実している	74%	83.2%
13	自分にとって、朝の読書は有意義であり、得るものがあった	69.6%	
14	生徒として、本校と石巻専修大学の高大接続研究事業は期待感がある	60.6%	

学習活動について

本校では、生徒の希望進路を実現するために次のような教育活動を実施しています。一年次では一般教科と基礎・基本的な商業科目を学習します。商業科目においては二年次から実施される進路に応じた類型（コース）を選択するため、商業科目に関する基礎・基本となる学習を行っています。

「学ぶ意欲を引き出し、学力を身に付けられるような授業が行われている」という質問項目では、平成19年度から、57%、67%、61%、58%、今年が59%でした。今年度の数値を年次に分けると1年次が68%、2年次が48%、3年次が58%となっています。

質問No.1. 学ぶ意欲を引きだし、学力を身に付けられるような授業が行われている。



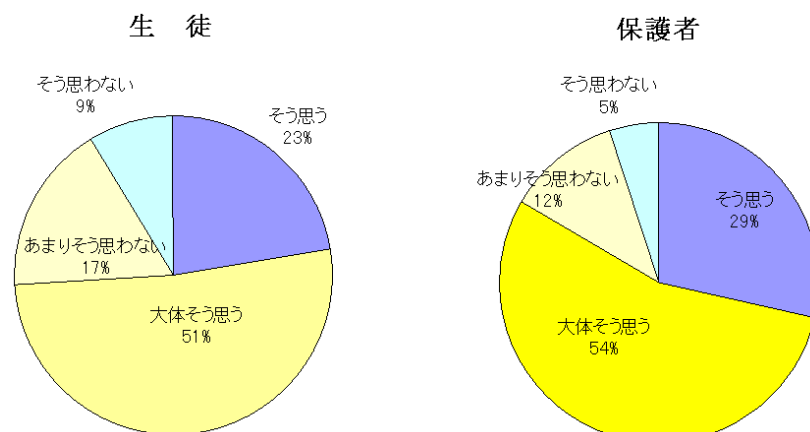
生徒指導について

生徒指導に関しては、「学校生活は充実している」という質問項目では、生徒74%・保護者83%と高い評価を得られています。この要因として着目した項目は次の3項目が挙げられます。

- | | | |
|-------------------------------------|--------|---------|
| ○ 挨拶やマナーなどの基本的な生活習慣の確立に関する指導が行われている | 生徒 87% | 保護者 84% |
| ○ 生徒会活動は行なわれている。 | 生徒 81% | 保護者 77% |
| ○ 部活動は活発に行われている。 | 生徒 87% | 保護者 89% |
| ○ 有意義な学校行事がある | 生徒 75% | 保護者 82% |

これらのことから、社会生活に必要な自主・自立の精神が形成され、また学校行事などが生徒の心身の育成を支えていることが分かりました。今後も片寄った指導をするのではなく様々な視点に立って学校運営を検討していきたいと思えます。

質問No.12. 学校生活は充実している。



進路指導について

今年度の全国就職内定率は100%（昨年84.4%）でした。他の進路内訳としては、公務員が3名、四年制大学・短期大学49名（国立大学2名）、各種専門学校63名であり、全体の進路決定率は98%となっています。

現時点において、公務員試験の2次試験の合格が決まれば進路決定率100%となります。このように高い進路決定率を保つことが出来ているのは、地域と連携して行われている進路支援推進委員会の方々のご理解とご支援のおかげであり、深く感謝申し上げます。

本校では、家庭・地域との連携を深めながら進路指導を進めています。また、進路指導部ではいち早く職場開拓や進学対策にあたり、生徒が積極的に進路意識を持ち行動できるよう、様々な場面で情報を提供しています。

質問No.3. 進路目標の明確化に向けた適切な指導が行われている。

